

おくすりコラム

片頭痛の治療薬について

慢性頭痛の治療の中心となるのは、生活支障度が高い片頭痛です。

月に1回から数回起こり、その痛みが1日中続く

ような頭痛は、片頭痛かもしれません。

今回は、治療薬について説明します。



経口薬

－ 5-HT₁受容体作動薬 －

- イミグラン錠50mg、ゾーミック錠2.5mg、レルパックス錠20mg
- マクサルト錠、アマーゼ錠2.5mg
- イミグラン点鼻薬（外用）、イミグラン注
- エルゴタミン製剤
- クリアミン錠

痛みが始まったらすぐに服用することで高い効果が得られます。

予防薬

- ミグシス錠5mg などがあります。

薬物治療が中心ですが適切な治療には患者様と医師の良好な協力関係が不可欠です。



（薬剤科長：佐藤 ゆかり）

予約の取り方

当院は「**全科予約制**」です。

予約をお取りしていない方はお電話でお問い合わせください。

ご予約
受付

022-255-7117

14:00～17:00（月～金）

救急・急患はこの限りではありません。緊急の方はすぐにお電話ください。「24時間体制」で対応しています。

当院は急性期病院です。脳卒中の急性期治療に対応すべく、24時間体制でMRI・MRA撮影、脳血管撮影、緊急手術・血栓溶解療法を行っています。

編集
後記

このたび、広報誌「仙台東脳外だより」を発刊する運びとなりました。当病院は地域の皆さまに支えていただき、2018年9月に開設30周年を迎えることができました。様々なできごとを、これから年4回季節ごとに発信してまいりますので、ぜひお読みいただけたら幸いです。（地域医療連携室：佐藤 誠之）



医療法人社団 脳健会

仙台東脳外だより

編集：仙台東脳神経外科病院 広報部 / 発行：2019年4月

VOL.1
2019.春

ご自由にお持ちください

「仙台東脳外だより」発刊にあたって

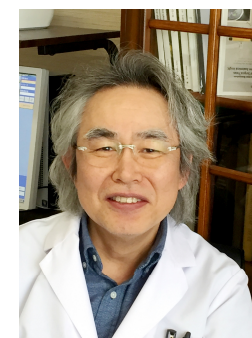
仙台東脳神経外科病院は、仙台市から宮城県北部の広域の皆さんの脳神経疾患、頭部外傷や脳卒中の患者様に対して脳神経外科の急性期手術を含む専門的な治療を行える病院として、30年前の1988年9月に発足いたしました。この地域には当時、脳神経外科の急性期治療を行える病院がありませんでした。諸先輩のみなさんの、このような空白地帯を埋めるという強い思いと、無我夢中の頑張りに支えられて病院が維持されてきました。2008年4月には富谷市成田に仙台リハビリテーション病院を発足させ、急性期治療から慢性期、リハビリテーションから在宅治療までシームレスに治療を行える体制が出来上がりました。ただ、この30年を振り返った時、日々の診療に力を入れてきましたが、現在まで、私たちの活動を地域の先生方や患者の皆様に積極的にお伝えすることを行っていませんでした。

この度、私たちの活動状況を地域の先生方にお伝えし、より一層認知していただき、患者様をご紹介していただくきっかけにさせていただきたいという思い、さらには、当院にかかっておられる患者様、地域の住民の皆様に仙台東脳神経外科病院の活動の状況や病気の説明、治療法などについて、分かりやすくお伝えするため、広報誌「仙台東脳外だより」を発刊することになりました。地域の皆様へ脳神経疾患に対する理解を深めていただく一助となる情報をお伝えし、疑問やお知りになりたいことについてもお答えする場として利用していただくよう願っております。

仙台東脳神経外科病院

やすい のぶゆき

院長 安井 信之



仙台東脳神経外科病院

〒983-0821

宮城県仙台市宮城野区岩切1丁目12番1号

Tel：022-255-7117（代表） Fax：022-255-7760

【関連施設】

仙台リハビリテーション病院

〒981-3341

宮城県富谷市成田1丁目3番1号

Tel：022-351-8118（代表） Fax：022-351-8126

急性期治療に対応すべく24時間体制で 高度かつ確かな医療を提供しています

主な設備	
MRI(1.5T)	2台
CT(64ch)	1台
レントゲン	1台
ポータブル	1台
脳血管撮影装置	1台
高気圧酸素治療装置(第1種)	2台



仙台東脳神経外科病院について

- 1
- 脳血管障害、頭部外傷などの治療を目的とした
脳神経外科の専門病院です。
- 2
- 脳卒中や頭部外傷を主とする「急性期」から、神経疾患・
リハビリテーションなどの「回復期」に至るまでの一貫した
診療を行っています。
(同一法人「仙台リハビリテーション病院」と連携)
- 3
- 病気を未然に防ぐための「健康管理」を大切にし、脳検診・
脳ドックなどの検診も実施しています。
- 4
- 患者さま中心の医療、高度で適切な医療を通じて地域社会
に貢献し、患者さまに信頼される医療を目指しています。

脳神経外科

脳は異変が起されば迅速かつ適切な処置を必要とします。脳神経外科では脳の急性期治療に対応すべく、24時間体制の診療に臨んでいます。最新機器と高度な医療技術により、MR撮影や脳血管撮影、緊急手術、血栓溶解療法、血栓回収療法などを実施しています。

神経内科

大脳の機能異常、頭痛・めまい・脳神経の異常、運動障害、感覚異常など…症状の原因は、脳血管障害、細菌やウイルス感染、免疫系の異常、栄養・代謝障害、原因不明の変性疾患など様々です。神経内科では、脳・脊髄・末梢神経・筋肉の様々な病気を診断・治療します。

整形外科(脊椎・脊髄)

手足のしびれや腰・背部痛にお悩みではありませんか？整形外科では、腰部脊柱管狭窄症、腰椎変性すべり症、腰・頸椎椎間板ヘルニア、頸椎症性脊髄症・神経根症、手根管症候群、腰椎圧迫骨折など、腰・頸・末梢神経、脊椎の疾患を対象として治療を行っています。

リハビリテーション科

放射線科

内科

麻酔科

特殊外来(物忘れ・脊椎)

栄養 ひとくちメモ

食事バランスガイドをご存知ですか？
～食生活を見直しましょう～

“食事バランスガイド”とは、一日に、「何を」、「どれだけ」食べたら「バランスの良い食事」になるのかをコマをイメージしたイラストであらわしたものです。運動をせずバランスの悪い食事だと倒れてしまいます。あなたのコマは上手に回っていますか？



- ① 朝ご飯を食べていますか？
胃が活発になり便秘予防に。肥満予防にもつながります。
- ② ゆっくりと噛んで食べていますか？
一口30回を目安によく噛むことで、満腹感を感じ肥満予防や認知症予防、唾液分泌を促し歯の病気を防ぎます。
- ③ 1日3食バランス良く規則正しい食事をしていませんか？
からだの機能が正常に働くことで健康的なからだを作ります。
- ④ 腹八分目にしていますか？
過食をしていると胃が大きくなり、すぐにおなかが減ってしまいます。
- ⑤ 野菜・キノコ・海藻などの食物繊維を取りましょう。
便秘予防や美容効果など。また、食物繊維が多く含まれる食品を先に食べることで、食べ過ぎ防止や血糖値やコレステロールの吸収を抑えます。
- ⑥ 間食は量を決めて、食べるなら日中にしましょう。
食べ過ぎると食事が食べられなくなる上、塩分・糖分・脂肪分の摂り過ぎにもなります。
- ⑦ 塩分は控えめにしましょう。
- ⑧ 寝る3時間前には食事を終えるようにしましょう。
寝る前に食べると消化されずに、そのまま脂肪になります。

当院では、管理栄養士による食事相談を行っています。

食事療法は病気を治療する上での大切な治療法の一つです。医師の指示に基づいて、管理栄養士が患者様の症状に合わせて食事をどうしたら良いのか、できる限り分かりやすくご説明します。ご希望の患者様は、予約制となっておりますので、主治医または看護師にご相談ください。
(栄養室 管理栄養士：山上 有梨)

